地球温暖化問題による異常気象が現れている今日、世界中ここ数年の異常気象をみると、大雨や渇水が多くニュースで報道されています。自然環境保全の考えは大変重要なものと考えていますが、今回の河川整備計画にあたっては、サケ、マス、イトウ、シジミ、カワシンジュガイ等天塩川に有する自然豊かな環境の保全は十分協議されていますので今後とも、関係機関と連帯を図りながら流域で生活する人々の安心、安全、地域の活性化のため着工を願います。岩尾内ダムでも分かるように、下流地域の士別市外近隣町村はダムのお陰で安心して農業、酪農等の経営をされています、又水道水も天塩川からの取水で生活されています。

その事だけでも大雨又渇水は、必ずこの地域にも災害は来る、来てからでは遅い。

その言を考えると洪水調整又下流域の生活の為には上流部でのダム以外には考えられません。一日も早い河川整備計画の着工（ダム、河道整備）を願います。